

ご利用案内

通常放映日時＝土・日・祝日

通常放映時間・内容(4月～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
それいけ!アンパンマン ～星空をかえせ～ こぐま座のティオ 星空だいぼうけん ほしのおはなし(星空解説)	おとめ座物語 プラネタリウム ちびまる子ちゃん 星にねがいを 星空解説	月の仲間たち 1秒ちよっと前の月 星空解説 ※5/28(土)「星空音楽館」は別内容となります。

※ご希望による放映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

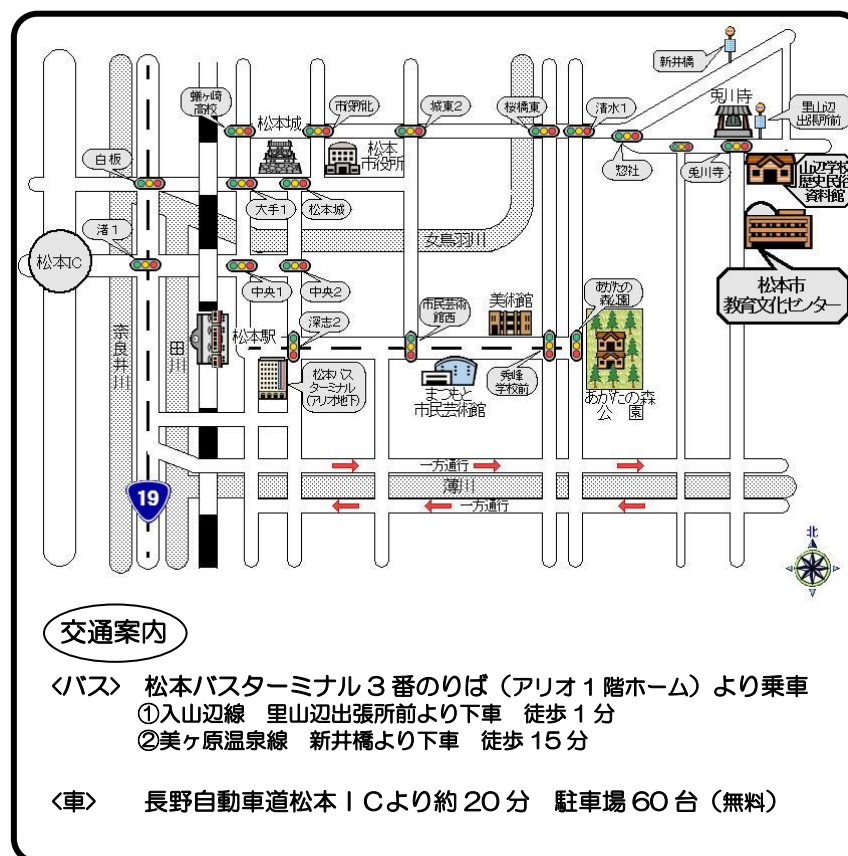
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

＜バス＞ 松本バスターミナル 3 番のりば (アリオ 1 階ホーム) より乗車
①入山辺線 里山辺出張所前より下車 徒歩 1 分
②美ヶ原温泉線 新井橋より下車 徒歩 15 分

＜車＞ 長野自動車道松本 I Cより約 20 分 駐車場 60 台 (無料)

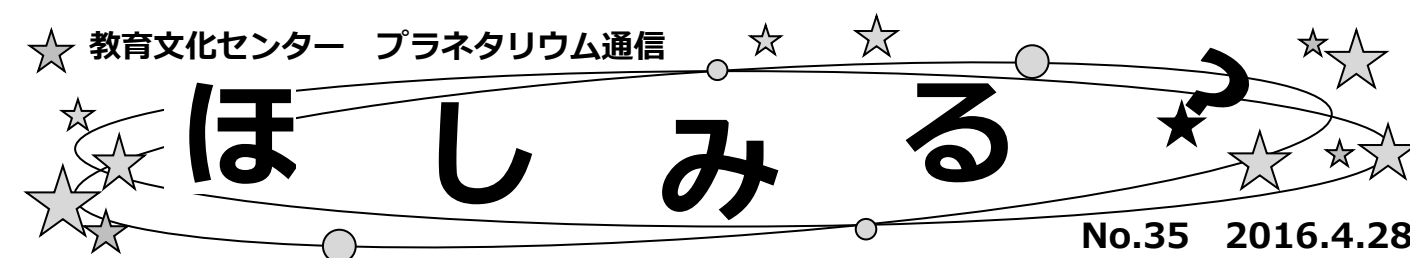
松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

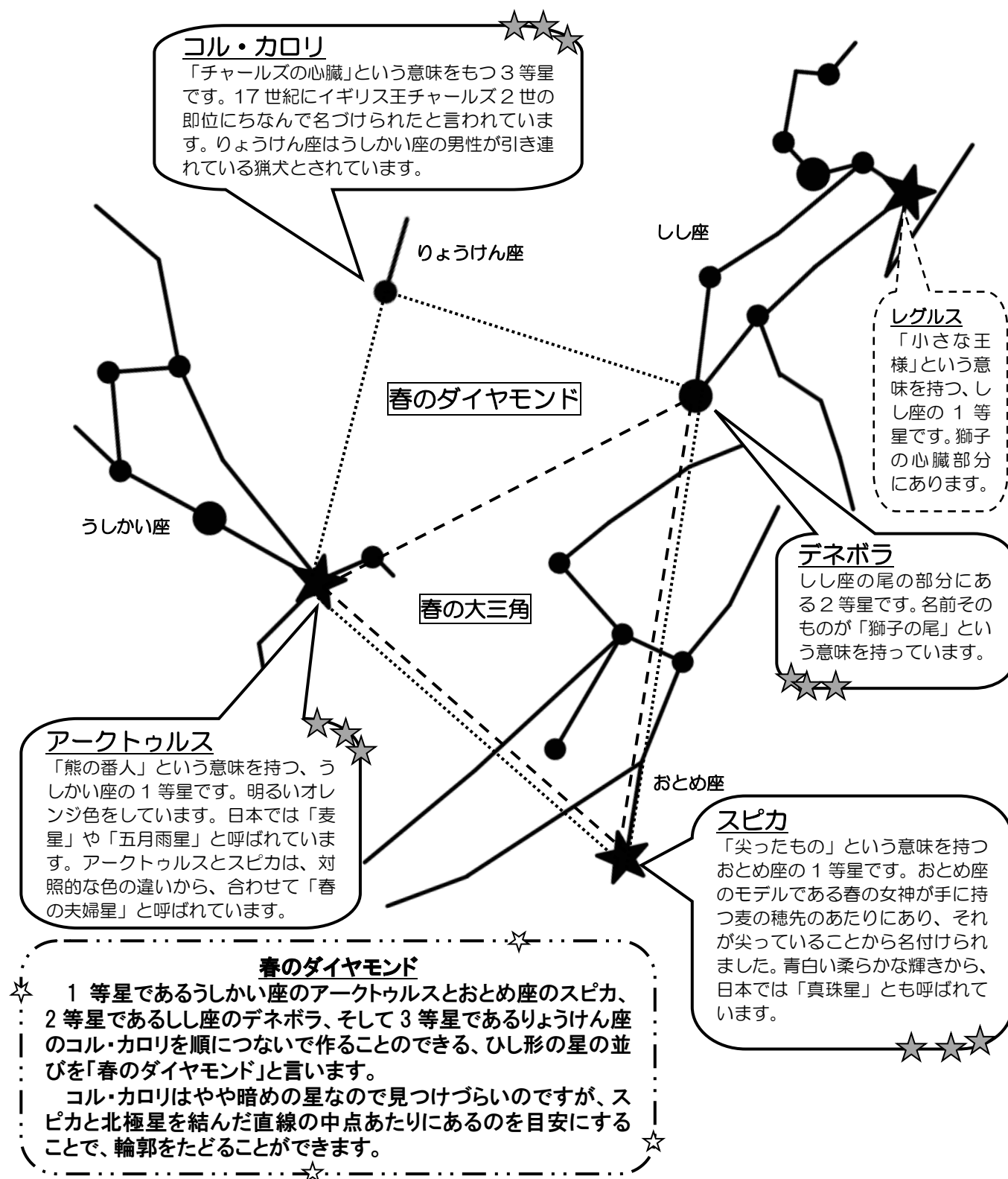
E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

★ 教育文化センター プラネタリウム通信



春は六角ではなく四角です。

冬は明るい星を 6 個つなげてできる六角形の「冬のダイヤモンド」を見られましたが、春の夜空ではトランプのダイヤマークに似た、四角形の「春のダイヤモンド」が現れます。



星空クイズ! (春の星座編)

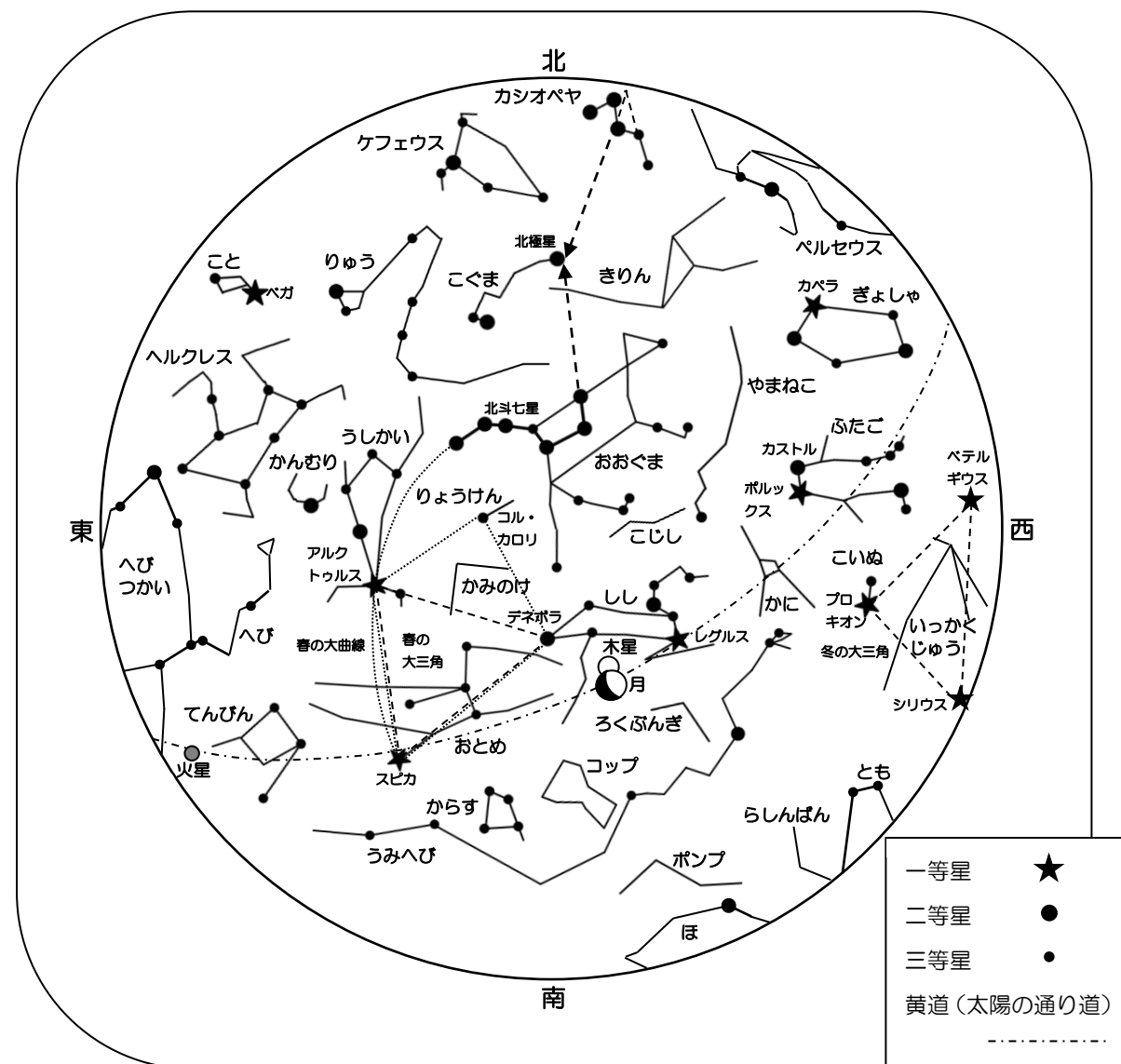
次の中で青白い 1 等星はどれ?

- ①デネボラ ②アークトゥルス
③スピカ ④コル・カロリ

472825

季節の星空

5月15日20時頃の松本の星空



5月の主な天文情報

- 6(金) みずがめ座 η 流星群が極大(出現期間 4/25~5/20、月明かりなく好条件)
- 7(土) 新月
- 15(日) 月と木星が最接近
- 22(日) 満月、月と土星が接近、火星が衝
- 31(火) 火星が地球に最接近

★ 極大 → 天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

★ 衝 → 外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晩中観測でき、大きく明るく見えます。

★ みずがめ座 η (エータ) 流星群

みずがめ座の少年が右手に持つ、液体の入った瓶のあたりを放射点として、放射状に飛び出すように多数の流星が出現します。

位置の関係から、北半球にある日本ではあまり注目されていませんが、南半球では三大流星群である「ペルセウス座流星群」に匹敵するとされています。

午前2時ごろから明け方までの短時間に、東の地平線付近で下から上へと流れる流星を見ることができます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

5/7(土) ☆ 星空散歩・星の観望会 19:30~21:00

天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。

(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始: 4/30(土) 8:30 より

定員: 40人(小学生以上。高校生以下は保護者同伴)

5/14(土) ☆ 天体望遠鏡操作技術講習 18:00~21:00

教文センター屋上に設置されている、天体観測室と大型天体望遠鏡の扱い方についての講習です。

受付開始: 5/7(土) 8:30 より

定員: 5人(高校生以上で、普通の望遠鏡の操作に慣れている方。)

高校生は保護者同伴)

5/28(土) ☆ 星空音楽館 15:00~

プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。テーマは「いらかの波と雲の波」。春らしい曲を中心にお楽しみいただきます。

申し込み不要。当日先着 90人

6/4(土) ☆ 星空散歩・星の観望会 19:30~21:00

天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。

(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始: 5/28(土) 8:30 より

定員: 40人(小学生以上。高校生以下は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

ミザールとアルコル

春は大きな熊の姿をしたおおぐま座が良く見える季節です。腰から尾の部分にあたるのが「北斗七星」で、「北のひしゃく(斗)の7つ星」という意味があります。ひしゃくの柄の端から2番目にある星は、2等星のミザールです。すぐそばに肉眼二重星である4等星のアルコルが寄り添っています。

アルコルのもう一つの呼び名はサイダクです。サイダクとは「目試し」という意味で、大昔のアラビアでは兵士の視力検査に使われていました。アルコルが見つけた兵士は戦地へ赴かなければならないので、見えてしまうと死期が近づく星とも言われています。少年漫画「北斗の拳」のエピソードのモデルとなっています。

